

臨床研究へのご協力のお願い

東京医科大学茨城医療センター消化器外科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

膵切除術後非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と血清バイオマーカーの開発

[研究の背景と目的]

近年、膵切除術症例の増加と共に、膵切除術後非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)の患者が増加しています。膵切除術後の NAFLD 発生機序としては様々な原因が考察されていますが、膵容積を多く切除する術式の増加により、術後 NAFLD の発生も 20~40%と非常に多く認められるようになりました。中には非アルコール性脂肪肝炎(NASH)を経て肝硬変から肝不全に進行する症例や、肝細胞がん(HCC)を発症する症例も認められます。一方、膵切除をしても NAFLD を合併しない症例もあり、その背景因子の違いはよくわかっていません。本研究は、膵切除術後 NAFLD の病態診断に必要な血液バイオマーカー分析システムを確立して病態の解析を行い、病態を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる方

東京医科大学茨城医療センター消化器外科にて胃切除または膵切除を予定する患者さん

●研究期間

倫理審査委員会承認後から 2028 年 3 月 31 日

●利用する検体やカルテ情報

手術前後のカルテからの診療情報、病歴情報と血液生化学検査、手術前後の画像検査情報

●検体や情報の管理

試料については東京医科大学茨城医療センター消化器外科、共同研究センターにて保管

します。解析後の試料は共同研究センターにて廃棄処置を行います。解析用データベースは匿名化を行い、個人情報との対応表を作成し、施錠された場所またはパスワードで保護された電子情報として管理します。

[実施体制]

研究責任者

東京医科大学茨城医療センター 消化器外科 主任教授 鈴木 修司

研究分担者

東京医科大学茨城医療センター 消化器外科 教授 下田 貢

東京医科大学茨城医療センター 共同研究センター 教授 本多 彰

東京医科大学茨城医療センター 共同研究センター 准教授 宮崎 照雄

東京医科大学茨城医療センター 集中治療部 講師 上田 元

[個人情報の取扱い]

個人情報を保護するために匿名化を行い、データには氏名、生年月日、カルテ番号等の直ちに個人が判別できる情報は含まれない。匿名化された情報から研究対象者を識別できるように研究登録番号と個人情報との対応表を作成する。対応表は施錠された場所またはパスワードで保護された電子情報として研究責任者が保管します。

[問い合わせ先]

相談窓口 担当者名 消化器外科 主任教授 鈴木 修司

連絡先:東京医科大学茨城医療センター 消化器外科

〒300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1

TEL 029-887-1161 外科医局まで